

精密板金の加工技術を生かし、炭素繊維素材も成形

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



自社製品の手づくり石けんカッター

精密板金加工を 一品モノの試作から対応

精密板金加工の技術が得意で、試作品や少量・中量部品を手がける。加工する板金の厚さは0.05mm～6.0mm。曲げ、切断、穴開け、溶接までの板金加工を一貫受注できる。部品によっては公差±0.05mmという高い加工精度を出すこともできる。

電機メーカー向けの端子部品や薄板バネ、金銭機械や自動車向けの機構部品、筐体、カバーなど、薄型板金の加工を広く手がける。簡単な試作品なら受注後2～3日で納入できる。「一品モノの試作でも相談されたら断らない」のが、木村俊雄社長のこだわりだ。

強み 自社製作の金型で、 特殊加工に対応

精密加工の技術を支えるのが、自社製作の特殊金型だ。市販されている板金加工用の金型で対応できない微細な加工を求められれば、ワイヤ加工機を使って専用の金型を製作する。木村社長は「専用金型と手動のエキセンプレス機を組み合わせた職人技で、市販機械では難しい爪の先ほどの部品の曲げ加工にも対応できる」と胸を張る。

特殊素材を加工するためのヒーター付き金型も独自に製作できる。マグネシウム合金の板をレーザー加工機で切断した後、ヒーター付き金型で350℃程度に温度管理したまま曲げ加工して納品した実績もある。

自社開発 ものづくりを楽しむ、 自社製品を開発

「ものづくりが楽しい」と話す木村社長は、自社製品の開発にも熱心に取り組む。顧客からの相談に応じて製作、販売した

次亜塩素酸生成装置や消臭・除菌剤噴霧装置などは、制御基盤を独自に設計し、企業ネットワークを活用して実現させた。

特に、約4年前に開発した「手づくり石けんカッター」は堅調な販売が続く。石けんメーカーの要望で開発したが、インターネットで聞きつけた各地の顧客から引き合いが相次ぎ、すでに数十台を販売した。ほかにも薄揚げの袋詰め治具、羊羹カッターなど、いくつもの機械を開発、販売している。

今後の展望 炭素繊維強化セラミックスを新事業に

新素材のCMC（炭素繊維強化セラミックス）を使った製品開発にも力を注ぐ。CMCは炭素繊維に酸化アルミニウム（アルミナ）やSiC（炭化ケイ素）を含浸した素材で軽量、高靱性、高耐熱が特徴。協力関係にある（株）湘南先端材料研究所（神奈川県藤沢市）が開発した成形法を用いてコストを低減できるという、ロケットエンジン用ノズルや次世代環境車用部品なども試作して、納入している。

木村社長も「過酷な環境に対応できる素材としてさまざまな引き合いを受けている」と期待を見せる。今後、量産技術を確認し、将来の新事業に育てたい考えだ。



炭素繊維強化セラミックス成形品



消臭・除菌剤噴霧装置

当社の歴史



平成元年に金属プレスメーカーの支援を受けて創業しました。前職の大手鋳鉄管メーカーで身につけたCAD/CAMの設計技術を基礎として、プレス加工から、穴開け、溶接と加工技術を広げてきました。5年ほど前から石けんカッターなど自社製の機械、装置の設計・開発も始めました。

代表取締役 木村 俊雄さん

<http://www.eight-tec.com/>

主な事業内容

精密板金の加工と試作品製作、石けんカッターなど独自機械の設計・製作

主な取引先(納入先)

家電メーカー、自動車部品メーカー、産業機械メーカー

●住所

〒532-0035
大阪市淀川区
三津屋南3-7-3

●TEL

06-6308-7517

●FAX

06-6308-7526

●創業

平成元年8月

●設立

平成元年6月

●資本金

5,000万円

●従業員

9名